



くんねっぷ  
HOKKAIDO KUNNEPPU TOWN

# 会 だより 議

172号

障がい者制度改革に  
向けた取り組みは

一般質問

4

ページ

発行 北海道訓子府町議会  
編集 訓子府町議会広報特別委員会

二〇二二年（平成三十四年）二月一日発行

12月定例会で審議した議案……………2

行政報告……………9

平成22年度各会計の決算を認定……………10

所管事務調査を実施……………11

議会の主なうごき／あとがき……………12



昼食に自分で作った豚汁を食べる児童生活館の児童

平成23年 12月 定例会 12月13日～12月14日まで

# 一般会計3,223万円を補正

平成23年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

## 一般会計(第7号)

歳入歳出予算に3,223万5千円を追加し、総額を43億2,525万9千円としました。

※挙手採決の結果(反対1名):原案可決

### ■主な歳出内容

- 乗用車購入(津野町との人事交流事業)  
130万円を計上
- 財政調整基金積立金 186万円を追加
- 療養給付費負担金(後期高齢者医療費)  
789万6千円を追加
- 介護保険特別会計繰出金  
110万5千円を追加
- 子ども手当システム改修事務  
233万1千円を計上
- 児童センター基本・実施設計業務  
800万円を計上
- 下水道事業特別会計繰出金520万円  
を追加

## 国保会計(第3号)

歳入歳出予算に89万4千円を追加し、総額を9億3,398万3千円としました。

### ■主な歳出内容

- 国庫支出金返還金 44万7千円を追加
- 道支出金返還金 44万7千円を追加

## 後期高齢者医療会計(第2号)

歳入歳出予算に366万7千円を追加し、総額を6,707万7千円としました。

### ■主な歳出内容

- 保険料等納付金(後期高齢者医療広域連合納付金)  
366万7千円を追加

## 介護保険会計(第2号)

歳入歳出予算に220万8千円を追加し、総額を4億8,918万9千円としました。

### ■主な歳出内容

- 介護保険システム改修  
220万8千円を計上

## 下水道事業会計(第2号)

歳入歳出予算に520万円を追加し、総額を2億1,880万円としました。

### ■主な歳出内容

- 実施測量設計業務(道道北見置戸線支障物件移設事業)  
520万円を追加

## 補正予算の質疑応答

**Q** 「児童生活館」改修から改築へと。

**A** 同館は、築34年が経過し屋根などの修理の計画であったが、調査の結果全体の老朽化により、修理費の大幅な増額が見込めるなどのことから、代わる建物として、訓小の一部の利用を検討されたが、学校側から将来、



老朽化により建替が予定されている児童生活館

小学級制が予測されるなどのことから、利用が困難との判断となり各関係機関と協議の結果、現在地の南側に改築の計画を決定した。

すでに現利用の保護者などから、アンケートで意向調査が終わり、今後「児童センター」として、少子化、核家族化などに対応し遊びを通じて異年齢児間の交流を図り、放課後を豊かに過ごし、必要に応じて六年生までの利用と「竹の子クラブ」などの活動にも活用の計画となっている。児童センターの定数は70名程度、放課後児童対策で出入りが自由となっている。

財源は、補助金を期待し有利な過疎債を使い、今定例会で基本・実施設計費800万円が議決され、総事業費は1億円となっている。予定面積は440㎡

で現館の2倍の広さで、平成25年4月「訓子府児童センター」としての開設を目指している。

**Q** JAきたみらいの町内酪農青年海外視察を、「農業後継者育成事業」の補助金で実施、その概要は。

**A** 本町の酪農青年部員9名が、研修期間11月10日から17日までの8日間、カナダのトロント、オタワ、モントリオールの牧場や、市場、機械メーカー等の視察調査が行われた。

一人当たりの費用は359,100円で、うちJAの助成金23万4千円、町は残りの3分の2の83,400円となっている。

今回、計画より4名増員となったため25万1千円の補正となった。

## 条例の改正等

◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

原案可決

災害弔慰金の支給等に関する法律により、災害弔慰金の支給対象となる遺族に兄弟姉妹が加えられたことに伴い、災害弔慰金の支給に関する条例を改正しました。なお、平成

23年3月11日（東日本大震災）以降に発生した災害に係る災害弔慰金から適用されず、

◆過疎地域自立促進市町村計画の一部変更

原案可決

過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づき、過疎地域自立促進市町村計画の一部を変更しました。

なお、変更内容は、「児童生活館改修事業（屋根改修）」を中止し、新たに「児童センター建設事業（実施設計・建設工事）」を追加しました。

□出納検査結果報告

報告了承

監査委員から10月から12月までの一般会計、特別会計及び水道事業会計について例月出納検査を実施した結果、出納事務は適法に行われ、異常ないとの報告がありました。

## 報告

## 議決した意見書

議員提案により意見書案が提出され、原案のとおり可決し、政府関係機関に意見書を提出しました。

○TPP参加に反対する要望意見書



# 一般質問

5名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

障がい者制度改革に向けた取り組みは

町長

可能な限り適切に対応したい



西山議員

**西山** 2006年4月に「障害者自立支援法」

が施行され、身体、知的、精神の三障がいが福祉施策の中で、一体的に行われるようになりました。

その後、様々な改善点が指摘され今年度7月に「障害者基本法」が改正され、2013年までに新法が制定されるそうですが今後の取り組みと考え方を伺います。

まず、相談支援の充実と地域生活支援協議会の設置は。

**町長** 相談支援については、本町の場合、直営で相談支援事業を行っており、保健師をはじめ関係する職員で、丁寧に相談業務にあたっています。

新法ではさらなる相

談支援の充実が求められると思うので、より個々の障がい者に適したきめ細やかな相談業務を行えるよう努めたい。

また、「地域生活支援協議会」の役割は「地域における障がい者施策の現状と議題の検討や障がい者福祉計画策定に意見を述べるもの」としているので、今後、近隣などの状況もみて平成24年度中に検討したい。

**西山** 本町の各障がい者手帳の所持人数は。

**町長** 身体障害者手帳は、1級から6級まであつて全部で360名

療育手帳は、A区分B区分があつて64名、精神障がい者保健福祉手帳は1級から3級まであつて24名です。い

れも23年11月30日現在です。

**西山** 障がい者の範囲の見直しで、発達障がいや心身の機能障がいがある人の実態把握は。

**町長** 本町は、以前から発達障がいや高次脳機能障がいなども支援の対象に含めていましたので、今までと変わらず適切に支援したい。

実態把握は、手帳などがないので難しいが子育て支援センターや幼稚園、保育園、各健診の状況、美幌療育病

院、児童相談所との連携を図り、実態把握に努めています。

**西山** 本町の障がい者の施設入所の実態と地域移行支援への考え方は。

**町長** 本町では道内5市4町に18名が入所されていて、地域移行支援の考え方は今後、国から示された段階で適切に対応したい。

**西山** 次期障がい福祉計画への影響と今後の考え方は。

**町長** 本年度中に平成24年度から平成26年度までの第3期計画を策定するため影響はないが、計画期間中に計画を見直すこととなる可能性はある。

## ※1ロメモ 基本合意文書とは

「障害者自立支援法」に対して、全国で71人の障害者を原告として、違憲訴訟が起きており、被告である政府は、新政権になってから、和解を模索し、2010年1月7日「障害者自立支援法違憲訴訟原告団・弁護士と国との基本合意文書」が結ばれた。

その中で、今後の障害福祉施策を障害のある当事者が、社会の対等な一員として、安心して暮らすことのできるものとするために最善を尽くすことを約束している。

## 一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき二問までを掲載し、内容を要約しています。その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。会議録は図書館に備えてあります。また、町ホームページ(<http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>)にも掲載しております。なお、平成23年第4回定例会会議録は2月下旬頃完成予定です。

今後、「基本合意文書」で確認された趣旨で制定されるであろう新法については、適切に対応したい。

**西山議員はこの他に「安心できる地域福祉のあり方」について質問しました。**

## 幼保一体化に伴う施設整備の検討状況は

### 教育長

#### 担当者の話し合いや先進地視察を実施

**工藤** まちづくり推進会議でも保育園・幼稚園一体化に伴う施設整備を、平成25年度以降に予定すると示しているが、現段階での検討状況は。

「子ども・子育て新

システム」の動向を見

極めながら、本町の幼

保一体化の在り方やそ

の総合的施設建設の研

究を開始しました。

現在は幼稚園、保育

園、子育て支援センタ

ーの担当者で話し合い

や先進地視察を実施し

ています。

また、町長が中心と

なつて、あらゆる機会

をとらえて関係省庁や

国会議員への財政支援

の要請を重ねています。

今後においても関係

課協力による研究体制

の整備を含め、遺漏の

ないよう進めます。

**工藤** 保育園、幼稚園、

子育て支援センター、

児童生活館を総括する

「子ども未来課」を教

育委員会に新設するの

の考え方だが、その理

由と時期について伺い



工藤 議員

福祉部門と教育委員

会で行っている支援業

務を一元化し「子ども

未来課」を設置するこ

とによりすべての子ど

もに良質な成育環境や

地域の特性に応じた子

育て支援を提供できる

ものと考えています。

設置については、国

の方向性や動向を見極

めながら適正な時期に

検討します。

**工藤** 児童生活館建替

えのための基本・実施

設計費を今定例会で予

算補正することになっ

たがその理由を伺いた

い。

**町長** 平成15年及び平

成21年に実施した次世

代育成行動計画策定の

際のアンケートでも、

「小学校6年生までの

受け入れ要望」や「小

学生が自由に遊べる児

童館的運営」の要望も

あり、平成22年9月に

小学校などの空き教室

活用も検討したが断念

せざるを得ませんでし

た。

放課後児童の健全育

成や要望の実現のため

にも、狭く老朽化した

現施設から新たな施設

整備が必要と判断しま

した。

## 日赤病院改築費負担の基本的な考えは

### 町長

#### 当然必要なものと考えている

**工藤** 日赤病院改築に

おける総事業費を始め

とする経費負担などに

かかわる説明や協議は

あったのか。

**町長** 平成22年9月に

総事業費などの説明、

平成23年5月にもまと

まった改築の設計概要

の説明を受けその際に

も財政負担についての

要請を受けています。

現時点では負担の詳

細について連絡はない

が、今後提示、協議さ

れていくと考えます。

**工藤** 病院改築費負担

についての基本的な考

えは。

**町長** 管内町村会と歩

調を合せながら、地域

医療支援病院として高

度医療と最新の技術で、

町民に最新医療と大き

な安心を提供してくれ

る病院改築に係る応分

の経費負担は当然必要

なものと考えています。

**工藤** 今後、費用負担

の問題を考える時、地

域医療をどうするのか

という点からも北海道

の役割も大切になると

考えるが。

**町長** 先般も道の保健

福祉部の部長などにも

医師確保の問題や日赤

に対する道の姿勢につ

いて厳しく要請してい

ますが、今後も引き続

いてやっていきたいと

考えています。



幼保一体化施設の建設に向けた研究が開始された幼稚園と保育園





## レクリエーション公園の芝桜の整備は

### 町長 土壌改善に向け管理を強化する

**河端** 町には多くの町有地・公園があります。その管理及び整備について伺います。

レクリエーション公園は、平成8年・訓子府町開基百年を記念し整備されたが、芝桜の傷みと雑草が目立ちます。

秋には、ボランテアを募り、芝桜のポット苗作りと、草取りが行われたが、これらでは対応できない状況だと思いが、今後どのように整備しますか。

**町長** 芝桜の造成は降雨時の法面崩壊を防ぐ目的も含め植生してきたが、古いものでは20年が経過しており古い茎や葉が弱り雑草も繁茂し荒れています。酸性度が高くなつて

いる事も考えられるので、来年度以降、土壌改善に向け施肥などを行い管理を強化します。

公園の利用者は増えており、町民に愛される公園を目指し、多くの町民にボランテア活動していただけるように日程調整や方法などを工夫します。

**河端** 町内には条例で指定されている公園以外にも遊具が設置されており、古くて危険なものもあるがその対応は。

**町長** 遊具が設置されている施設は11カ所あり、年に一度専門事業者による保守点検と町職員による巡回保守点検を月一回程度行つて安全確保対策をしています。

今後事故なく安全



河端議員

に遊べるように維持管理します。

**河端** 旧駅舎東側から相内線までの線路跡地は、砂利が積まれて雑草が生い茂っているが幸町線整備と併せてどのように進めますか。

銀河公園は、多くの

## 交通安全対策と今後の対応は

### 町長

### 警察など関係機関と連携し推進

**河端** 9月18日、町道南12線と白糠線の交差点で死亡交通事故が発生し、その後も立て続けに事故が起こり、町民から不安の声があがっています。

南12線は西富の跨線橋撤去工事が始まってから、迂回路として利用され交通量が増えて

こども達が利用していますが、遊具などを充実していく考えはありませんか。

**町長** 来年度以降、砂利の撤去とグレーダーなどでの整備をし、景觀を損なわないように努めます。

銀河公園の遊具の充実については、駅周辺整備計画のなかで検討します。

います。

今後、北海道横断道路が開通するとますます交通量の増加が予想されます。

今までの経過と今後の対策と見通しについて伺います。

**町長** 9月18日の死亡交通事故を含め、1か月の間に5件の交通事故



交通安全対策を行っている道道北見白糠線と町道南12線との交差点

故が発生し、12月2日にも物損事故が発生する異常事態となっております。

この事態を受け、北見警察署・網走建設管理部と町が、事故防止対策を協議し、停止線の塗り直しや「止まれ」の路面表示などハード

的な交通安全対策を行うとともに交通安全啓発チラシの配布などソフト的な対策をしました。

住民から信号機設置

の要望が強く、毎年北見警察署に3灯式の信号機の設置を要請していますが、年間に道内で11カ所しか予算が無いため難しいとの回答がありました。

北海道横断道路が開通すると町内の交通量が増えることが予想されるので、今後も制度的な交通安全対策を継続して要請するとともに、交通安全施設整備にも努めます。

## 財源確保と生活支援の施策は

町長

町民の生活を守り福祉後退させない



上原 議員

**上原** 交付金・補助金などの見直しと、自主財源確保の対策や、町の事業計画について。

また、TPP参加・年金制度改革・消費税増税による、町民の生活環境変化と対応策について町長の考えを伺いたい。

行政運営に必要な財源確保と今後の事業計画遂行について。

**町長** 国の予算編成作業の遅れで明らかではありませんが、平成24年度地方財政収支仮試算では81兆9千億円と制度変更を考えるとほぼ前年度同額となります。

震災対応で、財源確保が懸念され、更に道の財政も厳しさを増していますが、国の予算

とも連動しており不透明な状況にあります。

現畑総事業は、23年度で終了しますが国の基盤整備予算は前年比2分の1となり、更に道は1年10億円を上限として提示しているの

で次期事業の最終年が平成40年となる見込みです。

児童センターに係る道補助2千万円を2年に分ける提案に対し単年度への交渉中です。

また、町税・使用料などの未納者に対して悪質と思われる者には預金調査や就労先への給与照会を行ない、北見道税事務所との連携などにより未納解消に努めています。

調整をしています。

財源確保に努力し、起債償還や維持管理経費など将来負担も見据え事業の選択実施をしていきます。

地域懇談会・まちづくり推進会議での議論を踏まえ議会で議論し決定していきます。

必要性の高い施策をより効率的・効果的に進めるため、戦略性をもつて計画遂行に当たります。

**上原** TPP参加・年金制度改革・消費税増税による町への影響とその対応について。

**町長** TPPの農業への影響は、32億8千5百万円と試算され、他産業試算はありません。

地域経済への影響だけでなく、原産地規制

や遺伝子組み換え作物の表示の見直しなど国民生活に影響を受ける。鈴木宣弘教授・内橋克人氏の講演開催で町民とともに理解を深めてきました。

年金制度改革・消費税増税に関しては、社会保障と税の一体改革に取り組んでいます。現時点で具体的に明示されていませんので、影響について申し上げます。

町民の生活を守り、福祉を後退させない私の基本姿勢は変わりません。

**上原** 生活困窮者への支援施策について。

**町長** 一時的な医療費の手助けをするための制度として「生活困窮者に対する医療費の一部を助成する要綱」を定めています。平成10年施行以来助成の実績がありません。

要因は、相談者が町

税滞納がないなどの要件に合致しないことによると思われます。

内容によっては、生活保護相談として受け対応をしています。

**上原** 有名無実の予算計上は、町長の主張と乖離している。命を守ることが最低のサービスではないですか。

**町長** 要綱が現実と合っていない、また社会福祉協議会の無利子5万円貸付けも含めて、トータルで検討していきたいと思えます。



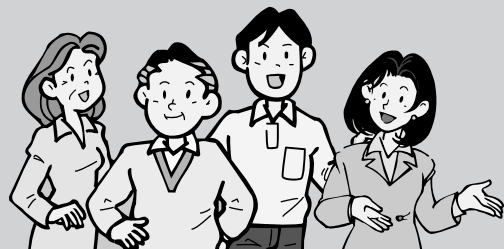
平成23年第4回定例会

第4回定例会は、17名の傍聴がありました。

## 議会を傍聴しましょう

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、テレビでも放映しています。

平成24年第1回定例会は3月上旬頃に開催する予定です。議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ





## 南北横断道路の西1丁目へ変更の考えは

町長

現在計画している道路が最善である

**余湖** プロジェクトチームを作って「くる・ネッ プ」周辺の道路を含めた整備しているとのことですが、周辺住民との話し合いや、西1丁目線への変更への情報・収集とかが行ないましたか。

**町長** 町では道路も含めて、「くる・ネッ プ」周辺の環境整備を着実に進めるため、関係課長、担当者による「くる・ネッ プ」周辺環境整備推進会議」というプロジェクトチームを立ち上げました。

これまで2回の会議を開催して1回目にはこれまでの経過や現時点での整備の考え方、現在の状況と課題を確認し今後の進め方を協議した。



余湖 議員

整備工事は平成25年度から26年度とし、その前段としてマスタープランを年内に練り上げ、年度内に「まちづくり推進会議」などで議論いただき整備内容を固めていく予定とされています。2回目の会議では、さらに内容を煮詰めていくこととされています。

また、「くる・ネッ プ」を活動場所としております「ファーマーズマーケット」代表の方や保育園担当者などから率直なご意見を伺う機会も設けています。今後ともこうした取り組みを重ねてまいりたいと考えています。西1丁目線に関しましては、JAきたみらいにおける施設等の再

編構想などは、また具体的になっていないようであり、現時点では西1丁目線延長上にJA倉庫からの荷物の積みおろし作業が行われ、売却したばかりの鉄道用地と民間の住宅があることなどの事実を踏まえた上で可能性を判断せざるを得ない状況にあります。

**余湖** 現在計画されている幸町線の位置や形状は危険な道路になるのではないかと不安はないですか。

**町長** この路線と平面交差する町道北2条線、南12線の交差点は本線の交通量が増えることを予想しておりますので、道々白線での事故多発を教訓に交通規制や万全な安全対策を



市街地を一体化させ均衡ある市街地整備を図る横断道路として、検討を進めている幸町線

北見警察署や公安委員会と協議してまいりたいと考えています。

交通事故防止は、交通規制や安全対策にも限界があることから、警察署や交通安全協会などの関係機関と連携しながら運転者や歩行者のモラル向上も含めた啓発活動が続けていきます。

**余湖** 一部批判のある道路よりも正常な形の道路の可能性があるとしたら検討してみますか。

**町長** 平成19年度の五十数名の代表者で組織

した銀河線跡地利用検討会議で決定された意見と町内会連協から要請を受け、鉄路で分断されていた市街地を一体化させ、均衡ある市街地整備を図るための横断道路の検討をしてきたところですが、その結果、現在計画している位置・線形が最善であると考えています。

この他、余湖議員は、「スポーツ少年団の振興に関して指導者の現状と中学校の部活動」について質問しました。

## 「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなどどんなことでも結構です。どうぞ議会事務局までご意見をお寄せください。

☎0157-47-2184へ FAX0157-47-2600へ





## 町長からの行政報告(要旨)

### ◆高規格救急自動車の配車について

毎年度、救急医療活動に貢献するなどの社会貢献活動の一環として、北海道内の各自治体の申請に基づき消防本部等に救急自動車を寄贈しております。JA共済連北海道本部の「救急自動車寄贈事業」を活用し、救急自動車の北見地区消防組合消防署訓子府支署への配置が決定されたものです。



JA共済連より寄贈された高規格救急自動車の受納式

なお、配車される救急自動車は、車体約530万円相当であり、北見地区消防組合では、これに約3,000万円を投入し、無線装置や防振ベットなどを導入し、最新鋭の救急医療機材等も備えた高規格救急自動車に整備し、12月16日にJA共済連北海道本部からの寄贈式が行われます。

また、訓子府支署での年間救急出動回数は、ここ数年200回前後で推移しており、最新の高規格救急自動車の導入と現在、救急救命士7名を配置し出勤に備えており、今後も一層住民の救急救命の向上に期待しているところです。

### ◆北海道横断自動車道の整備進捗状況について

北海道横断自動車道網走線は、十勝圏とオホーツク圏の生活経済圏を結ぶとともに、圏域相互の広域的な交流を活性化させ、各種産業流通の効率化や観光の振興、地域の均衡ある発展と福祉の向上等に大きな役割を果たす路線として、整備計画区間へ昇格し、平成18年2月7日の国土開発幹線自動車道建設会議で、陸別町小利別から北見間が新直轄方式による着工を全国で初めて決定されました。

本町の区間延長は、17.8kmの整備区間であり、基盤整備補助金の関係で来年度の契約となる1名を除き、用地補償契約は、全て終了しており、現在、6カ所の橋梁工事と4カ所の改良工事が進められています。

全体計画は、予算の状況によりますが、北見道路の(仮称)訓子府インターから(仮称)北見インター間が平成26年度末、訓子府インターから(仮称)陸別町小利別間は、平成28年度以降の供用開始予定と聞いています。



産業建設常任委員会所管事務調査時における開盛橋工事の進捗状況

なお、高速道路は、全線が開通し、その効果が表れてくるものであり、訓子府区域の1日も早い完成と凍結区間である足寄から小利別間、端野から美幌間の早期着工への要望活動を引き続き北海道や関係自治体等と連携を図り、各機関へ進めていきます。

※なお、町内関係者は、70戸、町内分の事業用地は、10,246,323.26㎡になっています。

# 平成22年度 各会計の決算を認定

## 平成22年度各会計の決算を認定

第3回定例会（平成23年9月13日）において、決算審査特別委員会（委員長：上原豊茂）に付託された「平成22年度訓子府町各会計決算」については、同年11月7日、10日の4日間にわたり、決算報告書などを審査した結果、7会計の決算はいずれも正当で認定すべきものとして本会議で報告があり、認定することに決定した。

### 決算審査特別委員会委員長の「審査意見」

町税及び使用料の未収額の解消については、これまでの職員の徴収の努力により、収納率の向上及び未収額の減少が図られ、成果が認められているところであり、

町税及び使用料の未収額の解消については、これまでの職員の徴収の努力により、収納率の向上及び未収額の減少が図られ、成果が認められているところであり、

上され、不用額が発生しているところですが、今後、特殊な場合を除き、極力、単年度で執行できるような事業の選択に努めていただきたい。

なお、歳出全般に対しては、経費削減を図りながらもきめ細かな住民サービス提供に努力され、今後においても更に創意、工夫に努めていただきたい。

また、住民サービスに関する情報提供をさらに、きめ細かく行っていたいただきたい。

財政運営に関しては、平成20年度予算から取り組まれている「財政健全化戦略プラン」に基づき経費削減の努力を今後とも引き続きお願いするところであり、予算の作成においても前年度実績などを参考にしながら、作成していることと思いますが、関係する法律改正や該当する案件の情報収集に努め、予算の精度をさらに上げる努力をお願いしたい。

水道事業会計については、有収率の向上を図るため、老朽管の更新事業を計画し、水道水の安定供給に努力することを求めるものがあります。

しかし、自主財源の確保と税の公平性の原則からも今後とも収納率の向上に努力をお願いします。

滞納者に関わる内部の連携を密にしていくなで、町からの情報提供を十分に行い、生活の安定につなげていく努力もお願いしたい。

歳出に関しては、特殊事情により、本年度繰越明許費が数多く計

平成22年度 各会計決算額

(単位:円)

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	4,865,749,335	4,483,370,816	382,378,519	
国民健康保険特別会計	898,299,125	883,491,011	14,808,114	
老人保健特別会計	5,440,967	5,440,967	0	
後期高齢者医療特別会計	61,303,071	61,246,671	56,400	
介護保険特別会計	438,175,873	428,876,992	9,298,881	
下水道事業特別会計	186,673,987	186,673,987	0	
合計	6,455,642,358	6,049,100,444	406,541,914	
水道事業会計	収益的収支	181,803,169	150,224,191	31,578,978
	資本的収支	119,812,701	235,071,481	△ 115,258,780



# 所管事務調査を実施

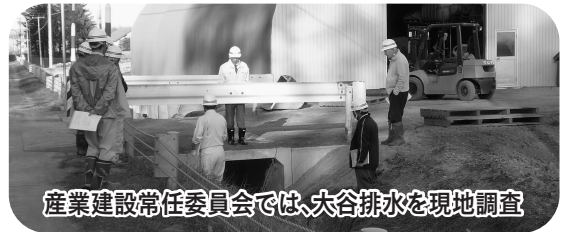
総務文教、産業建設の各常任委員会では、議会閉会中も開催され、所管事務調査などの調査活動を行っています。

## 産業建設常任委員会

□11月11日（金）  
○所管する事務について、担当者から現地で説明を受け、調査を実施しました。

（調査項目）

- ① 農業基盤整備事業
    - ・ タンノメモ川補修
  - ② 河川管理事業
    - ・ 大谷排水改修
  - ③ 小規模治山事業
    - ・ 大谷地区小規模治山工事
- 商工会との意見交換会を実施しました。



産業建設常任委員会では、大谷排水を現地調査

## 総務文教常任委員会

□11月22日（火）  
○所管する事務について、担当者から現地で説明を受け、調査を実施しました。

（調査項目）

- ① 給食センターの運営
- ② 児童生活館の運営
- ③ 子育て支援センターの運営



総務文教常任委員会では、子育て支援センター（こぐまひろば）を現地調査

## 総務文教・産業建設常任委員会合同

□11月22日（火）  
○将来的な図書館のあり方などに関する視察調査を置戸町生涯学習情報センターで実施しました。

（視察項目）

- ① 置戸町生涯学習情報センターの運営



両常任委員会で置戸町生涯学習情報センターを視察

□11月11日（水）  
○児童センターの運営方法などに関する視察調査を大空町児童センターで実施しました。

（視察項目）

- ① 大空町児童センターの運営



両常任委員会で大空町児童センターを視察

## ◆安愚楽牧場の破産による本町への影響

破産手続きまでの経過として、平成23年8月9日に、民事再生手続きが開始され、平成23年12月9日に、東京地裁で破産手続きの開始を決定されました。

本町の影響と今後の対応については、次のとおりです。

（平成23年度）

・ 牧場使用料未収金 145万6千円

※配当額は、債権調査完了後に決定されるが、預託料を支払うことができないため、預託牛と相殺する売買契約を締結する厳しい資産状況であると判断しており、極めて低い配当になることが予想される。

（平成24年度）

・ 安愚楽牧場からの入牧料は、年間400万500万円であり、これまでの牧場収支は、ほとんど同様の状況であったが、この入牧料がなくなることは、牧場運営上、厳しい状況である。

しかし、本町が受け入れていた繁殖牛は、事業譲渡される可能性もあり、今後の状況を見極め、対応を検討したいと考えている。

また、町内酪農家に少しでも多くの牛を入牧願うことを牧場互助会や酪農振興会を通じ要請していくことにしている。

# 議会の主なうごき

## 11月

- 1日 TPP交渉参加問題を考えるオホーツク集会(網走市:議長ほか) 町制60周年記念植樹(副議長、産建委員長)
- 3日 顕彰式(全議員)
- 7~10 決算審査特別委員会(決算審査特別委員・議長)
- 11日 産業建設常任委員会(所管事務調査)
- 13日 居武士小学校学芸会(総文委員、議長)
- 14~15日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会秋季要望(札幌市・東京都:議長)
- 16日 第55回町村議会議長全国大会(東京都:議長)
- 20日 くねっぶ幼稚園発表会(議長) 平成23年度秋季地域懇談会(正副議長)
- 22日 総務文教常任委員会(所管事務調査) 総務文教・産業建設常任委員会(合同所管事務調査:置戸町)
- 23日 新設感謝祭(正副議長・産建委員長)

- 24日 オホーツク町村議会議長会役員会(議長)
- 25日 北網ブロック正副議長会議(正副議長)
- 26日 柏丘入植100年記念式典(議長)
- 27日 くねっぶ保育園ゆうぎ会(議長)
- 30日 議会運営委員会

## 12月

- 1日 総務文教常任委員会
- 2日 産業建設常任委員会
- 4日 日本善行会善行表彰受賞者合同祝賀会(議長)
- 13~14日 第4回定例会
- 14日 議会広報特別委員会全員協議会
- 16日 救急車受納式(正副議長、消防組合議員)
- 19日 お帰りの先輩(正副議長) 東京くねっぶ倶楽部役員歓迎会(正副議長)
- 20日 民生委員推薦会(議長)
- 26日 議会広報特別委員会
- 29日 叙勲伝達式(正副議長)

## 1月

- 5日 平成24年訓子府消防団出初式(全議員)
- 6日 平成24年公職者等新年交礼会(全議員)
- 7日 高知県津野町への交換留学生派遣に係る出発式(正副議長)
- 8日 平成24年成人式(全議員)
- 11日 総務文教・産業建設常任委員会(合同所管事務調査:大空町) 中央長寿会新年会(議長) 全員協議会
- 13日 議会広報特別委員会
- 17日 議会広報特別委員会
- 23日 産業建設常任委員会(所管事務調査)
- 25日 ふれあい昼食会(議長)
- 27日 総務文教常任委員会(所管事務調査)
- 28日 自衛隊父兄会訓子府支部総会(議長)
- 29日 日本善行会北見地区支部創立30周年記念式典(議長)

# 委員会の活動

## 総務文教常任委員会

□ 11月22日(火)

○ 所管事務調査(調査内容は、11ページに掲載)。

□ 12月1日(木)

○ 第4回定例会における議案の審査を行いました。

□ 1月11日(水)

○ 所管事務調査(調査内容は、11ページに掲載)

## 議会広報特別委員会

□ 12月14日(水)

○ 「議会だより」第171号の問題提起、次号の掲載予定記事の確認を行いました。

□ 12月26日(月)

○ 第4回定例会での一般質問の原稿等を確認しました。

□ 1月13日(金)・17日(火)

○ 「議会だより」第172号の確認作業を行いました。

○ 11月11日(金)・22日(火)

○ 所管事務調査(調査内容は、11ページに掲載)。

□ 12月2日(金)

○ 第4回定例会における議案の審査を行いました。

□ 1月11日(水)

○ 所管事務調査(調査内容は、11ページに掲載)。

□ 1月23日(月)

○ 所管事務調査

## 議会運営委員会

□ 11月30日(水)

○ 第4回定例会における運営方法について協議を行いました。

## あとがき

平成23年は、東日本大震災を忘れることはありませんし、これからも長い長い復興の戦いが続き支援を！

今回ほど住民の安心、人の心、人の和、人の絆がどれだけ、大切かを感じたことはありません。

四月に選挙があり、新しい議会の出発の時、行政と議会が熱い議論を交わしており皆様のご意見を町政に届けております。

これからも住み良いまちづくりを目指し頑張っております。

議会広報特別委員会

議長 橋本 憲治

議会広報特別委員会  
 委員長 恵子 基三 喜昭 英甫 茂治 勇央  
 委員 由 芳美 静龍 弘義 朝一 豊憲  
 副委員長 端山 藤湖 藤藤 本林 原本 谷林  
 委員 河西 佐余 工安 山小上 橋森 小  
 事務局